

第5次夢育て・たちかわ子ども21プラン

資料3-2

素案の案(1月24日推進会議)から素案(3月4日厚生産業委員会)までの修正内容

第1章					
	章	頁	場所等	修正前	修正後
1	1	6	「子ども」の表記についてのカコミの最終行	引き続き「子ども」の表記を継続します。	引き続き「子ども」と表記します。
2	1	6	2段落目4行目	計画の理念である「子どもたちの笑顔があふれ、歓声が聞こえるまちに」の実現に向け取り組みました。	計画の理念である「子どもたちの笑顔があふれ、歓声が聞こえるまちに」の実現に向け取り組みました。
3	1	7	第2節 プランの位置づけ	「健やか親子21(第3次)」を基本とした母子保健計画	母子保健を含む成育医療等に関する計画
4	1	7	囲み内の個別計画名称1行目	第6次地域保健医療計画	健やかたちかわ21プラン 第4次
5	1	10	2策定体制 の図	—	鮮明なものに差し替え

第2章					
No.	章	頁	場所等	修正前	修正後
6	2	18	(11)子どもの経済的な状況の一番下の表	—	数字の小数点をそろえる
7	2	30	「自分のことを好きだ」と思うかのグラフ内	おとな	大人
8	2	35	施策目標2 (1)地域における子どもの居場所づくり	①子どもたちが～～ ②自然や文化・芸術～～	①子どもたちが～～ ②自然や文化・芸術～～
9	2	36	(2)青少年の育成・支援の箇条書き二つ目	小・中学校で栄養士による～～	小中学校で栄養士による
10	2	39	施策目標4(2)の一番下の箇条書き	発行を希望する	発行の申請があった
11	2	40	(2)保育施設の量と質の確保の箇条書き二つ目	研修会の開催や第三者評価、都の指導検査～～	研修会の開催や第三者評価、東京都の指導検査～～

第3章					
No.	章	頁	場所等	修正前	修正後
12	3	45	その2の一段落目の2行目	自分で育つ力をもっています。	自分で育つ力を持っています。
13	3	45	その2の一段落目の3行目	地域やささまざまな人との関わりや多様な経験などを通じて	地域や様々な人とのかかわりや多様な経験などを通じて
14	3	45	その2の三段落目の3行目	たとえば、学校の運営に地域も家庭も関わる仕組みがあることで、	たとえば、学校の運営に地域も家庭も関わるしくみがあることで、
15	3	48	第4節 施策の体系の図	—	鮮明なものに差し替え
16	3	48	施策の体系の図中、施策目標7の[1]の②	地域に根ざした子育て・子育て支援活動の推進とネットワークづくり	地域に根ざした子育て・子育て支援活動の推進とネットワークづくり

第4章					
No.	章	頁	場所等	修正前	修正後
17	4	53	夢たちコラム 右の段落	「こどもとおとなのはなしい In 市議会議場」	「こどもとおとなのはなしい in 市議会議場」
18	4	53	夢たちコラム 左側の2段落目	第一次の計画作りで策定市民委員会から提案された、	第1次の計画づくりで策定市民委員会から提案された、
19	4	53	夢たちコラム 右側の2段落目	「(仮称)子どもの権利条例の制定」がやっと新規取組の施策に掲げられた。	「子どもの権利条例の制定」がやっと新規取組の施策に掲げられた。

	章	頁	場所等	修正前	修正後
20	4	55	取組No.7 1行目	トラブルに巻き込まれた若者自身	トラブルに巻き込まれた 子どもや若者 自身
21	4	57	夢たちコラム「死にたかった子ども」から、死にたい子どもたちと、すべての大人たちへ 2段落目の2行目	中学一年生	中学 1 年生
22	4	57	夢たちコラム 右側の2段落目	それが全てです。	それが すべて です。
23	4	57	夢たちコラム 左側の3段落目	そんなことの繰り返しのなかで、	そんなことの繰り返しの 中 で、
24	4	58	取組No.13子どもが市政等に関する意見を表明する機会の提供	子どもにも分かりやすく伝わるように努めます。	子どもにも わかりやすく 伝わるように努めます。
25	4	58	取組No.14計画や施設運営に関する子どもの意見を活かせるしくみの充実	子どもに関わる施策や環境整備など、世代間で合意形成が必要な分野においては、子どもの参画や意見の反映に努めます。また、図書館や地域学習館などの公共施設の運営や行事、イベント等の企画に、子どもの意見を取り入れる仕組みづくりを検討し、意見が反映されるよう努めます。	子どもに かかわる 施策や環境整備など、世代間で合意形成が必要な分野においては、子どもの参画や意見の反映に努めます。また、図書館や地域学習館などの公共施設の運営や行事、イベント等の企画に、子どもの意見を取り入れる しくみ づくりを検討し、意見が反映されるよう努めます。
26	4	60	施策目標2 (1)地域における子どもの居場所づくりの表中、「子育てしやすい社会に必要なこと」のパーセンテージ	—	パーセンテージをセンタリング
27	4	62	取組No.18子どもの遊びを応援する市民活動の支援	放課後子ども教室「くるプレ」において、	放課後子ども教室くるプレ において、
28	4	65	取組No.25子どもたちへのスポーツ体験機会の提供	取組の特色のマークなし	「子ども」「市民」
29	4	77	取組No.30(再掲)の表題	小・中学校における食教育事業の推進	小・中学校における 食育の推進
30	4	83	取組No.56コミュニティスクールや学校評価の活用による地域参画の学校運営	「協働」	「子ども」「協働」 (四角い囲みのマークを追加)
31	4	91	2家庭における子育てへの支援の現状の中の箇条書き4つ目	互いに助け合う地域づくりを進めていく必要があります。	互いに 助けあ う地域づくりを進めていく必要があります。
32	4	96	取組No.86児童・生徒の教育費・学校給食費等の負担軽減の担当課	学務課・学校給食課・生活福祉課	学務課、学校給食課、生活福祉課
33	4	100	施策目標5の成果指標の表中	待機児童数	保育所待機児童数
34	4	106	取組No.100のタイトル	働き方の見直しや父親の育児参加の推進	働き方の見直しや父親の 家事 育児参加の推進
35	4	107	ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定数の目標値	40事業所	45事業所
36	4	111	「子育て・健康複合施設について」の説明・写真スペース	—	説明文と写真を追記
37	4	112	取組No.110 3行目	保育園や学童保育所等の受入について調整し、	保育園や学童保育所等の 受入れ について調整し、
38	4	115	成果指標の表	—	表中の数字を全て全角に統一
39	4	115	夢たちコラム 左1行目	普段家から出ないので～	「 普段家から出ないので～
40	4	115	夢たちコラム 左5行目	教えてくださった感想	教えて くれた 感想

	章	頁	場所等	修正前	修正後
41	4	115	夢たちコラム 左8行目 ～12行目	～「自分は人から必要とされているか」という質問に対し、中学2年生の51%が「そう思う」または「まあそう思う」と回答しました。一方、35%が「あまりそう思わない」～	～「自分は人から必要とされているか」という質問に対し、中学2年生の35%が「あまりそう思わない」、12%が～
42	4	115	夢たちコラム 左18行目 ～19行目	～現状に、私たちはもう一度真摯に向き合う必要があるのではないのでしょうか。	～現状に対し、私たちは目を背けずに真剣に向き合うべきではないのでしょうか。
43	4	115	夢たちコラム 左27行目	自分自身をポジティブにとらえることにつながるのではないのでしょうか。	自分自身をポジティブにとらえることにつながります。
44	4	115	夢たちコラム 左29行目	こうした	こうした
45	4	115	夢たちコラム 右3行目	～広がっています。	～広がっています。きっかけは、「はたらく」に対して様々なハードルを感じ、社会参加の経験を得られてない若者の存在でした。
46	4	115	夢たちコラム 右4行目	この「はたらく」	この取り組みの「はたらく」
47	4	115	夢たちコラム 右6行目	様々なものがあります	様々なものが含まれます
48	4	115	夢たちコラム 右10行目	また、若者は「はたらく」に対して、それぞれ異なるハードルを感じています。	初対面の人からの「ありがとう」が本人にとって大きな意味を持つことがあります。
49	4	117	取組No.122ひとり親家庭等に対する経済的な支援	—	表の罫線を太く
50	4	121	取組No.130 養育家庭や児童養護施設等の支援	療育家庭体験発表会等の機会を捉え、	養育家庭体験発表会等の機会を捉え、
51	4	121	取組No.86児童・生徒の教育費・学校給食費等の負担軽減の担当課の取組名称	児童・生徒の教育費・学校給食費等の負担軽減	(再掲)児童・生徒の教育費・学校給食費等の負担軽減
52	4	121	取組No.86児童・生徒の教育費・学校給食費等の負担軽減の担当課欄	学務課・学校給食課・生活福祉課	学務課、学校給食課、生活福祉課
53	4	122	取組No.133ヤングケアラーへの相談・支援	◆継続◆	◆新規◆

第5章

No.	章	頁	場所等	修正前	修正後
54	5	144	妊婦等包括相談支援事業の表中	妊婦届出数	妊婦届出数(件)

その他

No.	章	頁	場所等	修正前	修正後
55	資料編	151	就学相談の説明文章上から3行目	保護者との面談の他、行動観察や発達検査、見学・体験を通し、保護者が就学先を選択できるような情報提供する。就学後も引き続き相談が必要な場合は継続して相談することもできる。	保護者との面談の他、行動観察や発達検査、見学・体験を通し、保護者に必要な情報を提供し、一緒に考える。就学後も引き続き相談が必要な場合は継続して相談することもできる。